

科目	中国語基礎	単位数	2	学年	2	学級	A～G	学科	普通科・国際教養科
----	-------	-----	---	----	---	----	-----	----	-----------

学習の到達目標	中国語の発音記号であるピンインを正しく発音することが出来る。 中国語検定準4級レベルの力がつくようにする。
使用教科書 副教材等	標準高校中国語第2版（白帝社）

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	中国語概論 発音	これから学ぶ「中国語」について、基本的なことを学習する。 中国語発音の基礎を学ぶ。中国語の発音は日本人から見ると非常に複雑で聞き取りにくい部分が多いので、じっくり時間をかけて練習する。
	5	第1課 你好!	人称代名詞、あいさつ、名字の聞き方・答え方
		第2課 谢谢!	感謝の表現、お詫びの表現、別れのあいさつ
		中間考査	
	6	第3課 你叫什么名字?	名前の聞き方・答え方
	7	第4課 我是日本人。	“是”を用いた名詞述語文、副詞の“也”
	8	第5課 你是不是高中生?	反復疑問文、副詞の“都”
	8	第6課 这是什么?	指示代詞(単数)、疑問詞“什么”
	9	期末考査	
後期	10	第7課 这是我的词典。	所有・所属を表す“的”、“的”の省略、指示代詞(複数)、疑問詞“誰”
		第8課 你喝茶吗?	動詞述語文
	11	第9課 这个很好。	形容詞述語文
		第10課 你有零钱吗?	所有を表す“有”、疑問数詞“几”
	12	中間考査	
	1	第11課 介绍一下。	ちょっと…する、動詞の“在”、場所を表す代詞
	2	第12課 你家有几口人?	助数詞、疑問詞“哪儿”、動詞の重ね型
	3	中国語検定試験対策	一番基本的な級の問題で合格点がとれるようにする。
	3	学年末考査	
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	日本人にとって中国語の発音は大変に複雑で、残念ながら基礎段階での脱落者が非常に多い。選択した以上、関心・意欲は常に持ち続けて欲しい。	
	表現の能力	自ら考え、学ぶことが非常に大切。特に発音に関しては誤った自己判断を下すことのないように注意する必要がある	
	理解の能力	入門期においては、発音を習得することに尽力する。それが出来なければ、中国語はマスターできない。また、積極性を持つことも肝要である。	
	知識・理解	現代中国語を学習するからには、中国語を使用する世界にも当然目を向けて行く必要がある。ヒントは出すが、自ら興味を持って調べ、理解する態度は絶対に必要である。	
	評価方法	前期は特に発音のテストを実施し、定期考査に加味する。また、毎回教科書の問題やリスニング等を小テストとして扱い、平常点に算入するので、添付のCDを自主的に聞く。 当然、授業態度も評価の大きな基準となる。	
担当教諭から	せっかく選択したのだから1年間で簡単な会話が出来るところまでは習得できるように頑張って欲しい。ただし、それなりの覚悟をして授業に臨んで欲しい。		